

令和 3 年度 日本大学 学生 FD
CHAmmit 事後ミーティング報告書

日本大学学生 FD CHAmmit スタッフ一同



自主創造
日本大学

今回の事後ミーティングは、11月28日(日)に CHAmmit 本番を終え、そこでそれぞれのグループに分かれて作成した学部提案書の共有と、ファシリテーションの振り返り、セッションごとの気づきや反省を共有し、報告を行いました。



中でも多かった意見を以下の通りまとめました。

セッション1：キャンパスライフのメリット・デメリット

- ◆ 比較的活発に参加者の方から意見が出た。
- ◆ 時間はちょうどよかった。
- ◆ 予定通りスムーズに出来た。

など、セッション1では、1つのグループに複数の学部が集まり、互いのキャンパスライフを共有することができ楽しめたという意見が多数上がりました。

セッション2：アフターコロナの日大教育

- ◆ 話しやすさ、意見の引き出しやすさ、ムード作りが大変だった。
- ◆ 話の深掘りが難しかった。
- ◆ 昨年度の学部提案書の確認はスムーズに行えたが、Jamboardとの行き来が大変だった。

など、セッション2では、セッション1とは違い学部ごとの課題に向き合うことから意見を引き出すのが大変だったとの意見が多く見受けられました。



セッション3：IT化と大学教育

- ◆ 議論が熱くなりすぎ話がまとまらなかった。
- ◆ 去年無かった斬新な意見が多くまとめきれなかった。
- ◆ 新たな意見を議論し、文字化してまとめるのは難しい。

など、セッション3ではセッション2を深掘りし、新しく学部提案書を作成していく事から、参加者の方から多くの意見が上がり議論をまとめ、提案書を作成する事が大変だったという意見が多く見受けられました。

ファシリテーターとして

- ◆ 参加者同士の会話を促せなかった。
 - ◆ 自分ばかりが話してしまった。
- という反省点もあったようですが、
- ◆ 議論を深めることができ楽しかった！
 - ◆ さまざまな意見や価値観を学べて面白かった！

などの意見も多く、大変ではあったものの、楽しむことが出来た様です。



事後 MTG の最後は感謝状を授与して頂き
集合写真を撮影して終わりました！！

参加した一人ひとりの声が、実際に学部が届き大学の改善につなげることができる機会が少ない為、このようなFD活動はこれからも大切にしていきたいと思います。CHAmmit本番やこの事後MTGを通し、今後どのように日本大学が変わっていくのか本当に楽しみです！

これからコアスタッフで作成する、NEWS LETTERや日本大学FD研究の論文に皆さんの声をしっかり反映していきたいと思います。

学生スタッフの皆さん、お疲れ様でした！